

未来ノート ～わたしの生き方整理帳～（府中市）

- 住み慣れた地域で『最後まで自分らしく生きる』ことを目的に、認知症や突然の病気等に備えて、介護・医療・財産などについての希望を記録する。
- これまでの人生を振り返ってもらい、今後の人生を前向きに捉えた過ごし方や必要な準備を考えるきっかけとしてもらう。
- 平成25年4月1日より、市HPにてダウンロード可能なほか、市本庁及び府中市社会福祉協議会にて有償頒布を開始。

未来ノートの構成

・プロフィール（連絡先、普段の生活、病歴等）

・生い立ち、思い出

・親族、友人関係

・介護、医療、葬儀等についての希望

・財産に関すること 等

◇考えが変わることもあるため、同じ項目に記入欄を複数設けた。

◇ファイル形式のため、ページの追加等が可能。
自分だけのノートに！



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	府中市
②人口（※1）	252,004人（平成25年4月1日現在）（ ）
③高齢化率（※1） （65歳以上、75歳以上それぞれについて記載）	65歳以上 19.5%（ ） 75歳以上 9.2%
① 取組の概要	府中市社会福祉協議会への「府中市地域包括支援センター推進事業業務委託」において、未来ノートを作成。市ホームページに無料ダウンロードファイルを掲載し配布するとともに、印刷しクリアファイルに綴じたものを府中市社会福祉協議会、並びに市高齢者支援課窓口にて有償頒布している。
⑤取組の特徴	自分の生き方を振り返ってもらうと共に、介護サービス等を提供する行政の立場として知りたい情報を記載してもらうために、ノートを作成した。 市民アンケートにより、タイトルを「未来ノート～わたしの生き方整理帳～」とした。
⑥開始年度	平成24年度
⑦取組のこれまでの経緯	高齢者が予め意思を書き記しておくことで、本人が望む医療・介護サービスを提供できるとの観点から、平成24年度にノートの作成に着想した。「マイノート」を独自に発行し、普及に取り組んでいるボランティアグループ「福祉と生きがいを考える会」の意見を参考とし、医療・介護に関する希望の他、家族・知人関係、生活状況、財産に関すること等、多岐に渡る事項を網羅する内容とした。平成25年4月1日より、配布及び販売を開始した。
⑧主な利用者と人数	市内外の高齢者 有償頒布分売上 約2,200冊（5月22日現在）
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	府中市社会福祉協議会、福祉と生きがいを考える会（ボランティアグループ）、府中市高齢者支援課
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	府中市社会福祉協議会へ委託（府中市地域包括支援センター推進事業） 平成24年度予算 6,144,712円（他事業含む） 平成25年度予算 6,722,187円（他事業含む）
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	なし
⑫取組の課題	利用者が、ノートを入手したことで満足してしまい、有効に活用されない恐れがある。
⑬今後の取組予定	府中市社会福祉協議会が書き方講座を開催し、ノートを書くことの意義と有効な活用方法の普及を図る。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	福祉保健部高齢者支援課地域ネットワーク担当 電話 042-335-4537（直通）

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。